

(5) 講演

ア. 口頭発表

- ・ 岡部靖憲, “複雑系現象の時系列に潜む変化構造の可視化－実証分析:オーロラ, 地震と火山”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析10－数理・経済・地球物理現象, 明治大学, 2011 年 1 月
- ・ 岡部靖憲, “正規定常過程に付随する時間遅れのある2階楕円型偏微分方程式”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析10－数理・経済・地球物理現象, 明治大学, 2011 年 1 月
- ・ Y. Okabe, “Hamiltonian associated with stationary process having T-positivity and Riemann”, RIMS Project Research The international conference: Functions in Number Theory and Their Probabilistic Aspects, 京都大学数理解析研究所, 2010 年 12 月
- ・ 岡部靖憲, “T-正值性を持つ定常過程に付随するハミルトニアンとリーマン予想”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析9－数論・工学・医学・物理現象, 明治大学, 2010 年 11 月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(7)”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析8－物理・数論・経済現象, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 岡部靖憲, “T-正值性を持つ定常過程に付随するハミルトニアンとその応用”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析8－物理・数論・経済現象, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(6)”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析7－経済・物理現象, 明治大学, 2010 年 7 月
- ・ 岡部靖憲, “黒点・太陽風・地磁気・オーロラ・地震の時系列の構造抽出(5)”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 複雑系現象の時系列解析6－経済・数論・物理現象, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “ヒューマンエラーとどう向き合うか”, パネルディスカッション: 特別安全文化講座, 品質

と安全文化フォーラム, 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター, 2011 年 3 月

- ・ 向殿政男, “安全意識のガラパゴス化と産業への影響”, パネルディスカッション司会, 第 6 回安全工学フォーラム, 日本工学アカデミー, 弘済会館, 2011 年 3 月
- ・ 向殿政男, “日本の製品安全の動向と課題”, JEITA 安全政策委員会, 電子情報技術産業協会, 2011 年 3 月
- ・ 向殿政男, “セーフティ・システム・インテグレーションの必要性に関するシンポジウム”, パネルディスカッションモデレータ, 日本機械工業連合会, 東京証券会館ホール, 2011 年 2 月
- ・ 向殿政男, “ものづくり安全における基本概念 ～エレベータ事故を例にして～”, 特別講演, 大学院研究成果発表会, 東京電機大学, 2011 年 2 月
- ・ 向殿政男, “消費者とリスクコミュニケーション”, 製品安全に関するリスクコミュニケーション推進の意見交換会, 主催:消費者庁, 運営:NPO 法人品質安全機構, 日本教育会館, 2011 年 1 月
- ・ 向殿政男, “ものづくりと安全”, 神奈川ロボットビジネス協議会総会, 川崎市産業振興会館, 2011 年 1 月
- ・ 向殿政男, “製品安全に関するニューアプローチの採用について”, 品質と安全文化フォーラム, クロスオピニオンセミナー, 明治大学, 2011 年 1 月
- ・ 向殿政男, “真の原因究明ができる事故調査制度を! ～事故防止を実現する新しい仕組みの創設をめざして～”, パネルディスカッション, 全国消費者行政ウオッチねっと, 航空会館, 2011 年 1 月
- ・ 向殿政男, “安全社会の実現のための企業活動”, 「NIKKEI 安全づくりプロジェクト」シンポジウム, 日本経済新聞社, 日経ホール, 2010 年 12 月
- ・ 向殿政男, “製品の安全について～製品安全対策に係る事故リスク評価と対策の効果分析の手法に関する調査報告書～”, FTC 研究会, 東京工業大学, 2010 年 11 月
- ・ 向殿政男, “製品安全とリスクアセスメント”, 第 5 回製品安全総点検セミナー, 製品安全対策優良企業表彰式, 経済産業省, 2010 年 11 月
- ・ 向殿政男, “安全と安心が品質経営の中心になる時代”, 品質経営トップマネジメント大会, 日本科学技術連盟, 経団連ホール, 2010 年 11 月
- ・ 向殿政男, “安全学のすすめ～安全の確立と安心への橋渡し～”, オープン講座, 暮らしの安全, 食の安全を考える, 明治大学・読売新聞共催, 2010 年 10 月
- ・ 向殿政男, “安全学から見た製品安全”, 公開講座, 製品と機械とリスクアセスメント, 明治大学, 2010 年 10 月
- ・ 向殿政男, “安全とリスクアセスメントの基本”, 特別講演, 安全衛生大会, 加古川労働基準協会, 2010 年 9 月
- ・ 向殿政男, “製品の経年変化とリスク”, パネルディスカッション, 品質と安全文化フォーラム, 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター, 2010 年 9 月
- ・ 向殿政男, “製品安全の仕組み”, パネルディスカッション, 品質と安全文化フォーラム, 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター, 2010 年 9 月
- ・ 向殿政男, “機械安全の取り組み強化で競争力を～揺るぎないものづくり安全への提言～”, 特別

記念講演, マシンツールフェア, 大田区産業プラザ, 2010 年 9 月

- ・ 向殿政男, “安全学という新しい視点から身近な事故を解剖する”, 科学と社会事例研究1, 知の広場, お茶の水大学, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “自動車の電動化, 電子化とリコール問題”, 安全工学シンポジウム2010講演予稿集, pp.66-67, 日本学術会議, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “子どもの安全について考える”, 安全工学シンポジウム 2010 講演予稿集, pp.190-191, 日本学術会議, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “システム安全エンジニアへの期待”, システム安全エンジニア 資格認定授与式, 長岡技術科学大学, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “労働安全衛生マネジメントシステムに期待されるもの”, 千葉県建設業労働災害防止大会, 建設業労働災害防止協会千葉県支部, 2010 年 7 月
- ・ 向殿政男, “ものづくり安全から安全づくりへ”, 公開講演会, 明治大学校友会滋賀県支部, 2011 年 6 月
- ・ 向殿政男, “クルマの電子化/電動化と安全性について考える”, パネルディスカッション, Automotive Technology Day2010 日経 BP, 目白雅叙園, 2010 年 6 月
- ・ 向殿政男, “安全と安心”, 講演集 日仏原子力フォーラム～過去・現在・未来～, pp.37-39, 日仏工業技術会, 2010 年 6 月
- ・ Masao Mukaidono, “From Fail-safe Logic to Three-valued Logic and from Three-valued Logic to Fuzzy Logic”, 40th Anniversary of International Symposium on Multiple-Valued Logic, Barcelona, Spain, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “安全設計の基本とリスクアセスメント”, 平成 22 年度春季学術講演大会特別講演, 日本非破壊試験協会, 東京ファッションタウンビル, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “製品安全への投資は, 中長期的の視点で企業に利益をもたらす”, パネルディスカッション, UL 製品安全セミナー, 明治記念館, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “安全と事故調査のあり方～自動回転ドアとエレベータ事故に学ぶ～”, 記念講演, 品質と安全文化フォーラム, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “我が国におけるロボット研究の最前線”, 公開講演会, 明治大学校友会千葉県西部支部, 浦安ブライトンホテル, 2010 年 5 月
- ・ 向殿政男, “子どもの安全を守る社会の役割～安全学からの視点～”, 子どもの安全の研究グループ第2回総会, (社)日本技術士会, 2010 年 4 月
- ・ 向殿政男, “労働安全衛生に係る技術動向”, 特別講演, 平成 22 年度全国安全・衛生管理士合同研修会, 中央労働災害防止協会, 2010 年 4 月
- ・ 向殿政男, “安全の理念について”, 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会, 学術会議 総合工学委員会, 2010 年 4 月
- ・ 向殿政男, “安全学概論”, 公開講座, 化学物質の法規制, 明治大学リバティ・アカデミー, 2010 年 4 月
- ・ 向殿政男, “安全学のすすめ”, 公開講座, 安全学入門, 明治大学リバティ・アカデミー, 2010 年

4 月

- ・ 刈屋武昭, “A CB (Corporate Bond) Pricing Model for Deriving Default Probabilities and Recovery Rates”(招待講演), Risk Management Institute, National University of Singapore, 2010 年 9 月
- ・ 刈屋武昭, “A CB (Corporate Bond) Pricing Model for Deriving Default Probabilities and Recovery Rates”(招待講演), International Symposium on Financial Engineering and Risk Management2010 (FERM2010), National Taiwan University, 2010 年 6 月
- ・ 藤田創, 森啓之, “ハイブリッドコーディング ESPO を用いたネットワークの Loadability 最大化のための FACTS 機器最適配置法”, 平成 23 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-156, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “ベイズ推定を用いた配電系統における確率潮流計算”, 平成 23 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-118, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 角田広樹, 森啓之, “解の多様性を考慮した多目的メタヒューリスティクスによる確率的供給信頼度評価”, 平成 23 年電気学会全国大会, 論文番号 6-108, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 小坪利史, 森啓之, “SAX 変換と DA クラスタリングを用いた電力市場価格データの特徴抽出”, 平成 23 年電気学会全国大会, 論文番号 6-070, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 石橋直人, 森啓之, “ガウシアンプロセスを用いた負荷マージン推定”, 平成 23 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-062, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 大川健太・森啓之, “風力発電と電力需要の不確定性と CO₂ 排出を考慮した発電機の起動停止計画”, 平成 23 年電気学会全国大会予稿集, 論文番号 6-047, 大阪大学, 2011 年 3 月
- ・ 板垣忠大, 森啓之, “ファジィ推論ネットによる電力価格予測のゾーン推定法”, 電気学会電力技術・電力系統技術・半導体電力変換合同研究会, 資料番号 PSE-11-031/PSE-11-048/SPC-11-085, 琉球大学, 2011 年 3 月
- ・ 藤田創, 森啓之, “不確定性を持つ電力系統における ATC 評価”, 電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PSE-11-015, 北海道大学, 2011 年 1 月
- ・ 吉田尚史, 森啓之, “高速多目的メタヒューリスティクスアルゴリズムの電力系統への応用”, 進化計算シンポジウム, 福岡, 2010 年 12 月
- ・ 大川健太・森啓之, “Advanced MOEPSO に基づく多目的メタヒューリスティクスの提案と電力系統への応用”, 平成 22 年進化計算シンポジウム, 論文番号 4-02, 福岡, 2010 年 12 月
- ・ 藤田創, 森啓之, “2 層型 EPSO の開発とその応用”, 進化計算シンポジウム 2010, 資料番号 1-03, 福岡, 2010 年 12 月
- ・ 角田広樹, 森啓之, “確率的近傍選択タブサーチを用いた確率的供給信頼度評価”, 電気学会電力技術研究会資料, 資料番号 PE-10-134/PSE-10-133, 広島大学, 2010 年 9 月
- ・ 藤田創, 森啓之, “2 層型 EPSO を用いた ATC 最大化のための FACTS 最適配置”, 電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PE-10-142/PSE-10-141, 広島大学, 2010 年 9 月
- ・ 石橋直人, 森啓之, “負荷マージン推定のためのデータマイニング手法”, 平成 22 年電気学会電

- 力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PE-10-063/PSE-10-062, 広島大学, 2010 年 9 月
- ・小坪利史, 森啓之, “電力系統状態推定における分散型トポロジー可観測性解析”, 平成 22 年電気学会電力技術・電力系統技術合同研究会, 資料番号 PE-10-057, PSE-10-056, 広島大学, 2010 年 9 月
 - ・角田広樹, 森啓之, “タブサーチを用いた確率的供給信頼度評価のための新しい手法”, 平成 22 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 375, 九州大学, 2010 年 9 月
 - ・藤田創, 森啓之, “不確定性を考慮した ATC 最大化のための FACTS 最適配置”, 平成 22 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 374, 九州大学, 2010 年 9 月
 - ・小坪利史, 森啓之, “電力系統の状態推定におけるネットワーク分割を用いたトポロジー可観測性による手法”, 平成 22 年電気学会 B 部門大会, 論文 II, 論文番号 111, 九州大学, 2010 年 9 月
 - ・高橋輝, 森啓之, “データマイニング手法を用いた短期電力負荷予測のための最高気温予測”, 日刊工業新聞社主催スマートグリッド展 2010 ポスター展示, 東京, 2010 年 6 月
 - ・大川健太, 森啓之, “MOEPSO を用いた CO₂ 排出を考慮した多目的経済負荷配分”, 日刊工業新聞社主催スマートグリッド展 2010 ポスター展示, 東京, 2010 年 6 月
 - ・H.Mori, “A Meta-heuristic Approach to Probabilistic Transmission Network Expansion Planning”, Invited Seminar at NSYSU(National Sun-Yat University; 国立中山大学), Kaohsiung, Taiwan, 2010 年 5 月
 - ・H.Mori, “Estimating Casual Relationship in Load Forecasting with Hybrid Intelligent System”, Invited Seminar at CYCU(Chung Yuan Christian University; 中原大学), Chung Li, Taiwan, 2010 年 4 月
 - ・小林亮, “Toward Understanding the Locomotion of Animals”, International Workshop on Far-From-Equilibrium Dynamics, Kyoto, 2011 年 1 月
 - ・小林亮, “生物と数学とロボットと”, 産総研講演会「やわらかいロボット」第4回, つくば, 2011 年 1 月
 - ・小林亮, “計算するアメーバの不思議”, 宇宙☆自然講座, 浅口市ふれあい交流館サンパレア, 浅口市, 2010 年 12 月
 - ・小林亮, “Mathematical Modeling of Crawling Animals”, 9th iCeMS International Symposium ‘Mesoscale Control and Engineering of Self-Organized and Excitable Systems in Biology and Chemistry’, Kyoto, 2010 年 12 月
 - ・小林亮, “Mathematical Modeling of the Locomotion of Amoeba”, Czech-Japan Seminar in Applied Mathematics, Prague, Telc, Czech, 2010 年 8~9 月
 - ・小林亮, “Mathematical Modeling for Pattern Formation in Nature”, ISSCG-14, Dalian, China, 2010 年 8 月
 - ・小林亮, “真正粘菌の知性 -- 細胞のエソロジカルダイナミクス --”, 理研 ASI 細胞システムコロキウム シリーズ I 「理論生物学」, 和光市, 2010 年 6 月
 - ・戸塚慎也, 新井千紘, 荒川薫, “脳波解析による文章黙読時精神的負荷の客観的評価”, 電子情

報通信学会総合大会, A-20-9, 2011 年 3 月

- ・岡倉太郎, 中井義, 荒川薫, “位置調整を伴うブロックマッチング法による経年変化顔画像の人物認証法”, 電子情報通信学会総合大会, A-20-2, 2011 年 3 月
- ・鷺見慎一郎, 大地秀治, 荒川薫, “インタラクティブ進化計算を用いた顔画像陰影強調美観システム”, 電子情報通信学会ソサイエティ大会, A-20-2, 2010 年 9 月
- ・荒川薫, “錯覚とデジタルエステ”, 第 3 回錯覚ワークショップ-横断的錯覚科学をめざして-, 2010 年 9 月
- ・西森拓他, “アリの運動の定量的解析—個別運動から集団採餌まで—”(招待講演), 日本動物行動学会第29回大会, 那覇, 2010 年 11 月
- ・H.Nishimori, “Reduced model for the Morphodynamics of Dunes” (招待講演), 16th AIC Workshop, TOKYO, 2010 年 7 月
- ・大山俊亮, 柴田達夫, “Hierarchical Organization Of Noise In Signal Generation Of Spontaneous Cell Motility; Dynamics Of Oosawa Model”, 理論と実験研究会, 広島大学, 広島, 2010 年 10 月
- ・柴田達夫, “細胞の自発的な対称性の破れと情報処理”, 理論と実験研究会, 広島大学, 広島, 2010 年 10 月
- ・T.Shibata, “Statistical analysis and mathematical modeling of spontaneous activities of chemotactic cells”, RIKEN Mathematical Sciences Workshop in Kamisuwa, 2010 年 9-10 月
- ・T.Shibata, “Self-organization of chemotactic signaling system for spontaneous motion of Eukaryotic cells”, Biological physics seminar, Max Planck Institute for physics of complex systems, Dresden, Germany, 2010 年 6 月
- ・柴田達夫, “自己組織化現象による走化性情報処理”, 理研シンポジウム『細胞システムの動態と論理 II』, 理化学研究所, 埼玉, 2010 年 4 月
- ・西川正俊, 柴田達夫, “適応反応のゆらぎと応答”, 理研シンポジウム『細胞システムの動態と論理 II』, 理化学研究所, 埼玉, 2010 年 4 月
- ・大山俊亮, 柴田達夫, “大沢モデルにおける興奮性膜の自発的シグナル生成”, 理研シンポジウム『細胞システムの動態と論理 II』, 理化学研究所, 埼玉, 2010 年 4 月
- ・若野友一郎, “Spatial Pattern Dynamics of Ecological Public Goods” (招待講演), Budapest, 2010 年 10 月
- ・若野友一郎, “学習能力の進化”, 日本人類学会, 伊達, 2010 年 10 月
- ・若野友一郎, “Does inclusive fitness always predict the direction of evolution? : a mathematical answer”, 日本数理生物学会, 北海道大学, 2010 年 9 月
- ・砂田利一, “Diamond Twin”, 京都大学理学研究科, 2011 年 1 月
- ・砂田利一, “Topological Crystallography”, 京都大学数理解析研究所, 2011 年 1 月
- ・砂田利一, “Diamond Twin”, 数理解析国際研究集会, タイ, 2010 年 12 月
- ・砂田利一, “Diamond Twin”, フィリピン国立大学 100 周年記念講演会, 2010 年 10 月

- ・ 砂田利一, “Quantum walk”, 「確率論と幾何学」の集会, 東北大学理学研究科, 2010 年 8 月
- ・ 砂田利一, “Quantum Walks”, Dartmouth College, 米国, 2010 年 7 月
- ・ 砂田利一, “Quantum Walks”, W. Mueller 教授還暦記念集会, 2010 年 6 月
- ・ 三村昌泰, “Segregation property in a tumor growth PDE model with contact inhibition”, The 19th Workshop on Differential Equations and Its Applications, 國立成功大學, 台南, 台湾, 2011 年 1 月
- ・ 三村昌泰, “Singular Limit of Competitive Systems and Spatial Segregation Problems”, NCTS Workshop on PDE Models of Biological Processes, 國立清華大學第三綜合大樓, 新竹, 台湾, 2010 年 12 月
- ・ 三村昌泰, “微小重力環境でのすす燃焼のモデル支援解析”, PDEs and Phenomena in Miyazaki, 宮崎大学, 2010 年 11 月
- ・ 三村昌泰, “自己組織化とモデリング”, 第7回生物数学の理論と応用, 京都大学数理解析研究所, 2010 年 11 月
- ・ 三村昌泰, “Competition Diffusion Systems and Free Boundary Problems”, Workshop of Nonlinear Analysis and Integral Systems, 龍谷大学セミナーハウス, 2010 年 11 月
- ・ 三村昌泰, “Self-Organized Patterns in Bacterial Colonies”, International Workshop on Statistical Physics and Biology of Collective Motion, Max Planck Institute for the Physics of Complex Systems, Dresden, Germany, 2010 年 11 月
- ・ 三村昌泰, “Model-Aided Understanding of Self-Organized Patterns in Bacterial Colonies”, Mini-Workshop on Modeling, Simulation and Analysis of Bacterial Pattern Formation, 東北大学, 宮城, 2010 年 10 月
- ・ 三村昌泰, “Smoldering Combustion under Micro-Gravity”, 明治大学, 2010 年 10 月
- ・ 三村昌泰, “Self-Organization in Bacterial Colonies”, NLDS Days, Centre de Recherche Paul Pascal, Bordeaux, France, 2010 年 10 月
- ・ 三村昌泰, “Model-Aided Understanding of Competitive Exclusion and Competition-Mediated Coexistence”, Mathematical Biology Seminar at University of Bordeaux II, Bordeaux, France, 2010 年 10 月
- ・ 三村昌泰, “Modeling of Smoldering Combustion in Micro-Gravity”, Colloquium of Interdisciplinary Mathematics Institute, University Complutense de Madrid, Madrid, Spain, 2010 年 10 月
- ・ 三村昌泰, “Non-annihilation Dynamics in Reaction-Diffusion Systems”, Mathematical Sciences Workshop at Riken, 長野, 2010 年 9 月
- ・ 三村昌泰, “Self-organization in biological systems”, Advanced Mathematical Sciences I 「Patterns, Waves and Motion in Biological Systems」, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 三村昌泰, “情報手段を持つバクテリア集団の巧みなコロニー形成”, 先端数理科学 I「渋滞の数理」, 明治大学, 2010 年 8 月
- ・ 二宮広和, “Diffusion-induced blowup of reaction-diffusion systems”, Zhejiang Normal

University, Jinhua, Zhejiang, China, 2011 年 3 月

- ・ 二宮 広和, “Non-planar traveling waves and entire solutions of Allen-Cahn equations”, Zhejiang Normal University, Jinhua, Zhejiang, China, 2011 年 3 月
- ・ 二宮 広和, “Non-planar traveling waves of reaction-diffusion equations”, 19th Workshop on Differential Equations, National Cheng Kung University, Taiwan, 2011 年 1 月
- ・ 二宮 広和, “Non-planar traveling waves of reaction-diffusion equations”, Nonlinear Analysis and Integrable Systems 非線形解析と可積分系数理, Ryukoku University, Kyoto, 2010 年 11 月
- ・ 二宮 広和, “Traveling waves of Allen-Cahn equations”, Applied Mathematics Forum, Mini-workshop on ‘Modeling, Simulations and Analysis of Biological Pattern Formation’, Tohoku University, Sendai, 2010 年 10 月
- ・ 二宮 広和, “Traveling waves of Allen-Cahn equation”, Workshop on Interface motion and Traveling Waves in Reaction Diffusion Equations, Department of Mathematics, Tongji University, Shanghai, China, 2010 年 10 月
- ・ 二宮 広和, “Stacked fronts for cooperative systems with equal diffusions”, Reaction-Diffusion Systems: Experiments, Modeling, and Analysis, Universite de Paris-Sud 11, 2010 年 10 月
- ・ 二宮 広和, “Non-planar traveling waves of reaction-diffusion equations”, Workshop on Pattern formation in Chemical and Biological Systems, Budapest, Hungary, 2010 年 10 月
- ・ 二宮 広和, “Traveling waves in the various shapes”, AIMS conference, Dresden, 2010 年 5 月
- ・ 草野 完也, “太陽磁場の精密 3 次元モデルについて概要”, 犬山 GEMSIS ワークショップ, 2010 年 12 月
- ・ K. Kusano, S. Inoue, D. Shiota, T. Yamamoto, “An MHD Model of the Major Solar Flare on 2006 December 13”, San Francisco AGU2010, 2010 年 12 月
- ・ Kusano, K., “What Triggers Magnetic Reconnection in Solar Flares?” (招待講演), US-Japan Workshop MR2010, 奈良日航ホテル, 2010 年 12 月
- ・ 草野 完也, “太陽活動と太陽圏の変動について～気候変動の立場から～”, 太陽活動と気候変動の関係に関する名古屋ワークショップ, 名古屋大学, 2010 年 11 月
- ・ 草野 完也, 河村洋史, 河野明男, 島伸一郎, “雲形成メカニズムと太陽活動について”(招待講演), JAXA つくば宇宙センター 『第 5 回「地文台によるサイエンス」シンポジウム ～ 極限エネルギー宇宙物理から地球科学まで ～』, 2010 年 11 月
- ・ K. Kusano, T. Yamamoto, S. Inoue, D. Shiota, K. Nishida, R. Kataoka, “Data-driven Modeling of Solar Flares and CMEs”, 名古屋大学 2010 STELab-KASI Workshop on Space Weather, 2010 年 10 月

- ・ K.Kusano, T.Yamamoto, S.Inoue, D.Shiota, K.Nishida, R.Kataoka, “Data-driven Modeling of Solar Flares and CMEs”, 京都大学花山天文台 CAWSES II One-day Workshop: CME/ICME and Solar Wind, 2010 年 10 月
- ・ 草野完也, “2006 年 12 月の宇宙嵐イベント CME 駆動について”(招待講演), 名古屋大学『平成 22 年度名古屋大学太陽地球環境研究所研究集会「第 6 回磁気圏-電離圏複合系における対流に関する研究会」, 「サブストーム開始機構研究会」, 「STE 現象解析ワークショップ」合同研究会, Convection, Substorm, and STE Joint Workshop』, 2010 年 9 月
- ・ 草野完也, 西川憲明, “地球ダイナモと太陽ダイナモ その長期変動と対称性”(招待講演), 名古屋大学 太陽天体ダイナモ研究会(STEL・NSAOJ 研究集会), 2010 年 9 月
- ・ 草野完也, 島伸一郎, “雲とプラズマのシミュレーション”(招待講演), 核融合科学研究所・名古屋工業大学共同セミナー『ミクロスケールとマクロスケールの関わりについて』, 核融合科学研究所, 2010 年 8 月
- ・ K.Kusano, N. Nishikawa, “On the Hemispheric Symmetricity in Rotating Spherical Shell Dynamos”(招待講演), 国立天文台 Solar Dynamo Mini-Workshop, 2010 年 8 月
- ・ K.Kusano, T.Yamamoto, S.Inoue, D.Shiota, K.Nishida, R.Kataoka, “Data-driven Modeling of Solar Storm”(招待講演), 12th Quadrennial Symposium on Solar-Terrestrial Physics, Berlin, 2010 年 7 月
- ・ 草野完也, “誘導方程式の逆問題と フレア望遠鏡, Inversion of Induction Equation and the Analysis of Data from the Solar Flare Telescope”(招待講演), 20th Anniversary of the Solar Flare Telescope 'Recent Advances in Solar Observation and Instrumentation', 三鷹, 2010 年 7 月
- ・ 草野完也, “Toward a Holistic Modeling of Cloud-Microphysics for Space Climate”(招待講演), 京都大学 CAWSES-II Kick-Off Symposium, 2010 年 6 月
- ・ K.Kusano, S.Inoue, D.Shiota, K.Nishida, T.Yamamoto, R.Kataoka, “Data-driven Modeling of Solar Storm”(招待講演), 2010 ISPS Workshop, 成功大学, 台南, 2010 年 6 月
- ・ 草野完也, “講義 宇宙と地球と環境変動—その理解と予測—”, 法政大学人間環境学部 人間環境セミナー, 法政大学, 2010 年 5 月
- ・ 草野完也, “宇宙気候学の包括的なモデリングへ向けて”, 幕張メッセ 地球惑星連合大会, 2010 年 5 月
- ・ 草野完也, “2006 年 12 月 13 日太陽フレアのモデリング研究に関するレビュー”(招待講演), 幕張メッセ 地球惑星連合大会, 2010 年 5 月
- ・ 草野完也, “古太陽気候 1000 年モデル”(招待講演), 幕張メッセ 地球惑星連合大会, 2010 年 5 月
- ・ 草野完也, “太陽フレア発生は予知できるか?”, 幕張メッセ 地球惑星連合大会, 2010 年 5 月
- ・ K.Kusano, K.Shibata, R.Kataoka, D.Shiota, S.Inoue, T.Sugiyama, T.Matsumoto, K.Nishida, S.Shima, T.Ogino, “Modeling Study of Solar-Terrestrial Environment System”(招待講演), International Conference of World Class University, ソウル, 2010

年 4 月

- ・ 草野完也, “科学問題としての温暖化をめぐる視点”(招待講演), 日本学術会議 公開シンポジウム「IPCC(気候変動に関する政府間パネル)問題の検証と今後の科学の課題」, 2010 年 4 月
- ・ K. Sugihara, “Design of antigravity slopes for visual illusion”, 27th European Workshop on Computational Geometry, Morschach, Switzerland, March 28-30, pp. 55-58, 2011 年 3 月
- ・ 杉原厚吉, “不思議な立体が夢を育む～夢とは見るものではなくて作るもの～”, 南山大学・豊田工業大学連携講演会, 豊田工業大学, 2010 年 12 月
- ・ 杉原厚吉, “錯覚から見たエッシャー芸術の数理”, 明治大学各研究科横断型カリキュラム プロジェクト系科目 先端数理科学II『錯覚と数理』, 明治大学, 2010 年 12 月
- ・ 杉原厚吉, “不可能モーションの数理”, 明治大学各研究科横断型カリキュラム プロジェクト系科目 先端数理科学II『錯覚と数理』, 明治大学, 2010 年 12 月
- ・ 杉原厚吉, “エッシャーマジックへの挑戦”(招待講演), 3 次元映像フォーラム『錯視が活かされる世界: 芸術と科学の架け橋』シンポジウム, 論文原稿「3D 映像」, Vo. 25, No. 1, pp. 38-45, 立命館大学, 2011 年 3 月
- ・ 杉原厚吉, “夢工学 --- 夢をかなえる技術, 立体錯視の数理 --- だまし絵を立体にしてみよう”, 福岡県小倉高校スーパーサイエンスハイスクール特別講義, 2010 年 7 月
- ・ 杉原厚吉, “世界錯覚コンテスト参戦報告”, 第 3 回錯覚ワークショップ, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 杉原厚吉, “だまし絵の秘密”, サイエンスフィルムカフェ 2010, 科学技術館, 2010 年 9 月
- ・ 杉原厚吉, 『オープン・スペース 2010』出品作家によるイベント, アーティストトーク: 竹内龍人, ゲスト: 杉原厚吉, NTTインターコミュニケーションセンターフォーラム, 東京オペラシティ, 2010 年 9 月
- ・ 杉原厚吉, “だまし絵と錯覚 ～私たちはありのままを見ているのでしょうか～”, 岐阜県立斐太高等学校, 2010 年 10 月
- ・ 杉原厚吉, “立体錯視の楽しみ”(基調講演), ビジュアリゼーションコンファレンス, 2010 年 11 月
- ・ 上山大信, “A mathematical model of Liesegang type precipitation”, Mini-Workshop on Modeling, Simulations and Analysis of Biological Pattern Formation, Conference Room Aoba, 4th Floor of Heanel Sendai, Sendai, 2010 年 10 月
- ・ 上山大信, “An application of the self-organizing mechanism in the Reaction-Diffusion systems”, International Workshop on Pattern formation in Chemical and Biological Systems, Eötvös University, Budapest, Hungary, 2010 年 10 月
- ・ 上山大信, “One of the application of the self-replicating mechanism in some Reaction-Diffusion systems”, Reaction-Diffusion Systems: Experiments, Modeling, and Analysis, Paris-Sud 11, Orsay, France, 2010 年 10 月
- ・ 上山大信, “Mathematical model for Liesegang type precipitation”, Inorganic Nanowires: Syntheses and Growth Mechanisms (#264) [3A], The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, the Hawaii Convention Center 304A,

Honolulu, Hawaii, USA, 2010 年 12 月

- ・ K.Ikeda, T.Miki, M.Mimura, J.Y.Wakano, “Mechanistic Formulation of two-patch compartment model for the spatial continuous systems”, 海洋学研究所セミナー, 国立台湾大学海洋学研究所, 台北, 台湾, 2010 年 11 月
- ・ 池田幸太, “縮約方程式が現れる反応拡散系に関する解析”, 京都駅前セミナー, キャンパスプラザ京都, 2010 年 11 月
- ・ K.Ikeda, T.Miki, M.Mimura, J.Y.Wakano, “Formula for the dispersal rates in a compartment model”, Reaction-Diffusion Systems: Experiments, Modeling, and Analysis, Université de Paris-Sud 11, Paris, France, 2010 年 10 月
- ・ 池田幸太, 栄 伸一郎, 柳田 英二, “Instability of multi-spots in general shadow systems for reaction-diffusion equations”, International Workshop on Pattern Formation in Chemical and Biological Systems, Eötvös Loránd University, Budapest, Hungary, 2010 年 10 月
- ・ 池田幸太, “反応拡散方程式へのデータ使用に向けて”, 第 8 回「複雑系現象の時系列解析 8」ー物理・数論・経済現象ー, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 池田幸太, 三木 健, 三村昌泰, 若野友一郎, “Formula for the dispersal rates in a compartment model”, 第 20 回日本数理生物学会大会, 北海道大学, 2010 年 9 月
- ・ 池田幸太, 木下修一, 友枝明保, 野津裕史, 上山大信, “美味しいコーヒーの淹れ方の数理 ～コーヒー抽出における熱湯の浸透について～”, 日本応用数理学会 2010 年度年会, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 池田幸太, 三木健, 三村昌泰, 若野友一郎, “compartment model における移動分散率の表現公式”, 僕らの合宿 2010-融合に向けて-, YMCA コンフォレスト湯来, 広島市, 2010 年 8 月
- ・ 池田幸太, 三村昌泰, “Reflection of a traveling wave in smoldering combustion”, The 8th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications, Dresden University of Technology, Dresden, Germany, 2010 年 5 月
- ・ 末松 J. 信彦, “円形反応場を伝播する化学反応波の集団が形成する疎密波”, 日本化学会第 91 春季年会(年会は中止, 発表は成立と認定されている。), 神奈川大学, 2011 年 3 月
- ・ 末松 J. 信彦, “表面張力差で駆動される樟脳船の集団運動”, 第 47 回 自律分散システム部研究会, 首都大学東京, 秋葉原サテライトキャンパス, 2010 年 12 月
- ・ 末松 J. 信彦, “Spatio-temporal pattern of fluid and its application to construct a hierarchic structure”, 明治大学大学院プロジェクト系科目「Advanced Mathematical Sciences II」, 明治大学, 2010 年 10 月
- ・ 末松 J. 信彦, “Collective behavior of micro-organisms induced by phototaxis”, 明治大学大学院プロジェクト系科目「Advanced Mathematical Sciences I」, 2010 年 9 月
- ・ 末松 J. 信彦, “樟脳船の渋滞ー実験と理論のコラボレーション”, 広島大学・明治大学・龍谷大学 合同合宿, 広島市, 2010 年 8 月
- ・ 末松 J. 信彦, “生物・無生物におけるパターン形成”, 細胞のかたちと機能プロジェクト研究セン

ター 第15回セミナー, 広島大学, 2010 年 7 月

- ・ 末松 J. 信彦, “場を介して相互作用する自律運動粒子の集団運動”, 京都駅前セミナー, 2010 年 5 月
- ・ 中村和幸, “平滑化分布を利用したデータ同化スキーム”, 第 60 回理論応用力学講演会, 東京工業大学, 2011 年 3 月
- ・ 中村和幸, “日本における EFD/CFD 融合の方向性～データと統計の科学から”(パネルディスカッション), 第4回 EFD/CFD 融合ワークショップ, 秋葉原ダイビル, 2011 年 1 月
- ・ 中村和幸, “金融時系列可視化の新しいアプローチ”, 経済物理学に基づく金融時系列の可視化に関するワークショップ, 明治大学, 2010 年 12 月
- ・ 中村和幸, “工学におけるデータ同化とその応用”, 複雑系現象の時系列解析9, 明治大学, 2010 年 11 月
- ・ 中村和幸, “大規模・高頻度時系列に対する SSA 解析”, 複雑系現象の時系列解析8, 明治大学, 2010 年 10 月
- ・ 中村和幸, “統計的数理モデル融合と現象数理学”, 行動計量学会, 埼玉大学, 2010 年 9 月
- ・ 中村和幸, “大規模現象モデリングと統計科学”(招待講演), 統計サマーセミナー2010, ホテルサンバレー富士見, 静岡, 2010 年 8 月
- ・ 中村和幸, “大規模イベント駆動システムのデータ同化”, 複雑系現象の時系列解析7, 明治大学, 2010 年 7 月
- ・ 中村和幸, “イベント駆動型システムに対するモデリングとデータ同化”, 第 59 回理論応用力学講演会, 日本学術会議, 2010 年 6 月
- ・ 木下修一, “ネットワーク構造の違いにより現れるブーリアンダイナミクスの特徴”, 第 2 回応用システムバイオロジー研究会『細胞内ネットワークのアトラクターとダイナミクス』, 京都大学, 2011 年 3 月
- ・ 木下修一, “ネットワーク構造の違いにより現れるブーリアンダイナミクスの特徴”, NLPM セミナー, 広島大学大学院数理分子生命理学専攻, 2011 年 3 月
- ・ 木下修一, “複雑ネットワーク上のブーリアンダイナミクス”, 今野研究室セミナー, 横浜国立大学, 2010 年 11 月
- ・ S.Kinoshita, “The gene regulatory dynamics in the complex networks”, The Third China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Beijing China, 2010 年 10 月
- ・ 木下修一, “異なる構造を持つネットワーク上での Boolean Dynamics の比較”, 広島大学・龍谷大学・明治大学 合同合宿, 広島市, 2010 年 8 月
- ・ 木下修一, “遺伝子ネットワーク構造とダイナミクスの関係”, 明治数理科学 EXHIBITION, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 占部千由, 武末真二, “混合バネ系における破壊現象 IV”, 日本物理学会第 66 回年次大会, 新潟, 2011 年 3 月
- ・ C.Urabe and S.Takesue, “Enhancement of Fracture Toughness and Maximum Stress In a Disordered Lattice System”, 18th European Conference on Fracture, Dresden,

Germany , 2010 年 8 月 - 9 月

- ・ C.Urabe and S.Takesue, “Fracture Toughness and Maximum Stress In a Disordered Lattice System”, 2nd Workshop on Statistical Physics of Fracture and other Complex Systems, Debrecen, Hungary , 2010 年 9 月
- ・ C.Urabe and S.Takesue, “Fracture toughness and maximum stress in a disordered lattice system”, 16th ACP Workshop ‘Physics of Fracture and Related Problems’, Tokyo, 2010 年 7 月
- ・ 友枝明保, 柳澤大地, 今村卓史, 西成活裕, “人の反応伝播速度とロスタイム最小化”, 日本応用数理学会 春の研究部会連合発表会, 東京, 2011 年 3 月
- ・ A.TOMOEDA, D.Yanagisawa , T.Imamura and K.NISHINARI, “Starting-Wave of Pedestrians and its Application for Marathon”, Far-From-Equilibrium Dynamics, RIMS, Kyoto, 2011 年 1 月
- ・ 友枝明保, 柳澤大地, 今村卓史, 西成活裕, “人の反応伝播速度とトラベルタイムの導出”, 2010 年度応用数学合同研究集会, 滋賀, 2010 年 12 月
- ・ A.Tomoeda, “Jamology : Vehicles and Pedestrians”, Seminar on Partial Differential Equations in Kinetic Theories, Isaac Newton Institute for Mathematical Sciences, Cambridge, England, 2010 年 12 月
- ・ 友枝明保, “セルオートマトンモデルによる交通流現象の研究とその応用”, 横浜国立大学 今野研究室セミナー, 横浜国立大学, 2010 年 12 月
- ・ 友枝明保, 柳澤大地, 今村卓史, 西成活裕, “人の反応の伝播速度と膨張波”, 九州大学応用力学研究所(RIAM)-平成 22 年度共同利用研究集会, 福岡, 2010 年 10 月
- ・ A.Tomoeda, “Public Conveyance Model and Application for Train Network”, Seminar at Prof. Stefania Bandini Lab., The University of Milano-Bicocca, Italy, 2010 年 9 月
- ・ 友枝明保, 柳澤大地, 今村卓史, 西成活裕, “人の反応伝播速度の密度依存性について”, 日本応用数理学会 2010 年度年会, 大阪, 2010 年 9 月
- ・ 友枝明保, “サグ部での渋滞形成メカニズムと錯視現象”, 僕らの合宿 2010～融合に向けて(広島大学, 明治大学, 龍谷大学合同合宿), YMCA コンフォレスト湯来, 広島, 2010 年 8 月
- ・ 友枝明保, “交通渋滞現象と数理モデル”, HMC(北陸M倶楽部) セミナー, 金沢大学, 2010 年 7 月
- ・ 友枝明保, “渋滞形成メカニズムに潜む錯視現象と渋滞緩和”, 明治数理科学 EXHIBITION, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 友枝明保, “車の渋滞現象とセルオートマトンモデル”, 第 6 回デジタル解析学セミナー, 早稲田大学, 2010 年 4 月
- ・ 中橋渉, “家族の起源の数理モデル”(招待), 京都大学人類進化論ゼミ, 京都, 2011 年 1 月
- ・ 中橋渉, “人類進化と学習能力”, 第 3 回日本人間行動進化学会, 神戸, 2010 年 12 月
- ・ 中橋渉, “人類進化と性”(招待), 第 21 回ダーウィンセミナー, 東京, 2010 年 11 月
- ・ 中橋渉, “Evolution of learning abilities in the genus Homo”(国際研究集会), The Third

China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, 中国, 北京, 2010 年 10 月

- ・ 中橋 渉, “初期人類における繁殖形態の進化”, 第 64 回日本人類学会, 伊達, 2010 年 10 月
- ・ 中橋 渉, “Conditions for the evolution of conformist transmission”, 第 20 回日本数理生物学会, 札幌, 2010 年 9 月
- ・ 中橋 渉, “学習能力と学習戦略の進化” (招待), 『交替劇』B01 班第 1 回班会議, 沖縄, 2010 年 8 月
- ・ 中橋 渉, “人はなぜ賢くなったのか?”, 第 12 回日本進化学会, 東京, 2010 年 8 月
- ・ 中橋 渉, “学習能力の進化と人類史”, 第 5 回現象数理若手シンポジウム, 川崎, 2010 年 6 月
- ・ 野津 裕史, “特性曲線法による流れ問題の数値シミュレーション”, 北陸 M 倶楽部セミナー, 金沢大学, 金沢, 2011 年 3 月
- ・ 野津 裕史, 田端正久, “L2 評価と離散 L2 評価”, 日本応用数理学会研究部会連合発表会, 電気通信大学, 2011 年 3 月
- ・ 野津 裕史, 田端正久, “離散 L2 評価 –特性曲線差分法への応用–”, 日本数学会, 早稲田大学, 新宿, 2011 年 3 月
- ・ 山口 将大, 野津 裕史, 上山 大信, “反応拡散系の自己組織化機構を利用した新たなメッシュ生成法”, 北陸 M 倶楽部セミナー, 金沢大学, 2011 年 3 月
- ・ 野津 裕史, 山口 将大, 上山 大信, “自己組織化機構を利用したメッシュ生成手法の開発”, 日本応用数理学会連続体力学の現象と数理研究部会シンポジウム, 九州大学西新プラザ, 福岡, 2011 年 2 月
- ・ H. Notsu, “Characteristics finite element and difference schemes for flow problems”, The 2nd Japan-Taiwan joint workshop, Meiji University, 2011 年 2 月
- ・ 野津 裕史, “高品質特性曲線有限要素法の開発”. 明治大学グローバル COE 現象数理若手シンポジウム「航空機の数理 –流体モデルと数値解析–», 明治大学, 2011 年 1 月
- ・ 野津 裕史, “無限 Prandtl 数熱対流問題への特性曲線有限要素法の適用”, 日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会シンポジウム, 岡山理科大学, 2011 年 1 月
- ・ 山口 将大, 野津 裕史, 上山 大信, “反応拡散系の自己組織化機構を利用した新たなメッシュ生成法”, 2010 年度応用数学合同研究集会, 龍谷大学, 2010 年 12 月
- ・ 野津 裕史, “特性曲線有限要素法の応用”, 2010 年度応用数学合同研究集会, 龍谷大学, 2010 年 12 月
- ・ 野津 裕史, “特性曲線有限要素法の実践”, 九州大学数値解析セミナー, 九州大学, 2010 年 11 月
- ・ 野津 裕史, “流れ問題のための時間高次精度特性曲線有限要素/差分スキーム”, 早稲田大学数学・応数談話会, 早稲田大学, 2010 年 9 月
- ・ H. Notsu, “A pressure-stabilized characteristics finite element scheme for the Navier-Stokes equations”, Czech-Japanese Seminar in Applied Mathematics, Czech Technical University in Prague, Telč, Czech Republic, 2010 年 9 月
- ・ H. Notsu, “Characteristics Finite Element Schemes for Flow Problems”, Seminar on

mathematical sciences based on Mathematical models, Analysis and Simulation, Meiji University, Kawasaki, 2010 年 4 月

- ・ 野津裕史, R. Miresmaeili, N. Saintier, J.-M. Olive, 金山寛, “材料内の一方向連成結晶塑性-水素拡散シミュレーション”, 第 59 回理論応用力学講演会, 東京学術会議, 東京, 2010 年 4 月
- ・ 堀内史朗, “猿害対策から見る人と自然の関係の地域間変異”, 数理社会学会, 沖縄国際大学, 2011 年 3 月
- ・ 堀内史朗, “ホスト-ゲストの相互作用: 高千穂夜神楽に注目して”, 日本社会学会, 名古屋大学, 2010 年 11 月
- ・ 中橋渉, 堀内史朗, “初期人類における繁殖形態の進化”, 日本人類学会, 伊達市, 2010 年 10 月
- ・ 堀内史朗, “多文化が保たれるメカニズム: 空間構造のある調整ゲーム ABM による分析”, 数理社会学会, 獨協大学, 2010 年 9 月
- ・ 堀内史朗, “グローバリゼーションからグローカリゼーションへ”, 日本応用数理学会, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 堀内史朗, “集団の垣根を越えた社会”, 第 6 回現象数理若手シンポジウム『現象数理学と数理社会学の対話』, 明治大学, 2010 年 7 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を伴う細胞集団モデル”, 日本数学会 2011 年度年会, 早稲田大学理工学術院, 2011 年 3 月(震災措置による発表成立)
- ・ 若狭徹, “空間 1 次元 Allen-Cahn 方程式の線形化固有値問題について”, 日本数学会 2011 年度年会, 早稲田大学理工学術院, 2011 年 3 月(震災措置による発表成立).
- ・ 若狭徹, “接触抑制の観点からみた腫瘍の数理モデル”, 藤田保健衛生大学数理講演会, 藤田保健衛生大学, 2011 年 3 月
- ・ 若狭徹, “2 種競争反応拡散系と自由境界問題”, 「現象の数理」研究会, 伊東, 2011 年 2 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を持つ細胞集団の数理モデル”, MEE Seminar 冬合宿, 明治大学清里セミナーハウス, 2011 年 1 月
- ・ 若狭徹, “Mathematical theory of a tumor growth model with contact-inhibition”, 第 28 回九州における偏微分方程式研究集会, 九州大学西新プラザ, 2011 年 1 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を伴う細胞の数理モデル”, 第 7 回現象数理若手シンポジウム「細胞・腫瘍の数理」, 明治大学, 2010 年 11 月
- ・ 若狭徹, “Exact solutions in bistable reaction-diffusion equations”, 研究集会「散逸系の数理」, 京都大学数理解析研究所, 2010 年 11 月
- ・ 若狭徹, “On linearized eigenvalue problems for one dimensional Allen-Cahn equations”, Workshop on Nonlinear Analysis and Integrable Systems (四ツ谷晶二教授還暦記念研究集会), 龍谷大学セミナーハウス, 2010 年 11 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を伴う細胞集団モデルとその解析”, 京都駅前セミナー, キャンパスプラザ京都, 2010 年 10 月

- ・ 若狭徹, “生物, 特に細胞群に関する個体数力学を記述する偏微分方程式モデル”, 今野研究室セミナー, 横浜国立大学, 2010 年 10 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を考慮した細胞の個体数力学モデル”, 夏の偏微分方程式セミナー2010, 神戸大学, 2010 年 8 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を考慮した腫瘍の数理解モデル”, デジタル解析学セミナー, 早稲田大学, 2010 年 7 月
- ・ 若狭徹, “Limiting Structure on linearized eigenvalue problems associated with Chafee-Infante type equations”, Nonlinear Evolutionary PDEs and their Equilibrium States(山田義雄教授還暦記念研究集会), 早稲田大学, 2010 年 6 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を伴う細胞の数理解モデル”, 明治数理科学 exhibition, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 若狭徹, “接触抑制効果を伴う非線形拡散・競合系モデルの進行波解について”, RDS セミナー, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 若狭徹, “Limiting structure on eigenfunctions of linearized eigenvalue problems for 1-dimensional bistable reaction-diffusion equations”, 8-th AIMS conference on Dynamical systems, Differential equations and Applications, Special Session 63, Dresden, Germany, 2010 年 5 月
- ・ 若狭徹, “Traveling waves for a reaction-diffusion model for tumour growth with contact inhibition”, 8-th AIMS conference on Dynamical systems, Differential equations and Applications, Special Session 16, Dresden, Germany, 2010 年 5 月
- ・ Siew, H.-Y., “Semi-parametric estimation of modulated renewal processes”, The Second International Conference on Mathematical Sciences (ICMS2-2010), Kuala Lumpur, Malaysia, 2010 年 12 月
- ・ Siew, H.-Y., “The generalized t-distribution on the circle”, Mathematical Sciences based on Modeling, Analysis and Simulation Seminar (MAS Seminar) of the Meiji University GCOE Program, Meiji University, 2010 年 7 月
- ・ K.Mitsuru, “Empirical Nash Equilibrium and its Applications”, The 2nd Japan-Taiwan Joint Workshop for Graduate Students in Applied Mathematics, 明治大学, 2011 年 2 月
- ・ 吉川満, “板情報に着目した市場モデル:進化ゲーム理論”, 第3回現象数理解手ミニシンポジウム「ファイナンスと現象数理学」, 明治大学, 2010 年 11 月
- ・ 吉川満, “板情報に着目した市場モデル:進化ゲーム理論”, 第 6 回「複雑系現象の時系列解析 6」ー経済・数論・物理現象ー, 明治大学, 2010 年 5 月
- ・ 吉川満, “進化ゲーム理論入門, 1-2-3”, Mathematical Ecology & Evolution Seminar, Meiji Univ., 2010 年 4 月
- ・ 吉川満, “Cournot 市場から始めるゲーム理論入門”, Mathematical Ecology & Evolution Seminar, Meiji Univ., 2010 年 4 月

- ・ 藤間真, “Dynamic spiral coexistence in competing species”, 第1回現象数理若手ミニシンポジウム「進化による安定共存と反応拡散系の形態形成」, 明治大学, 2010年8月
- ・ 藤間真, “Dynamic spiral coexistence in competing species”, 研究集会「偏微分方程式の最近の話題 2010 in 別府」, 2010年4月
- ・ 日高徹司, “複雑系現象の時系列に潜む変化構造の可視化, 実証分析: オーロラ, 地震と火山” 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 明治大学, 2011年1月
- ・ 日高徹司, “複雑系現象の時系列に潜む変化構造の可視化, 実証分析: マーケティング” 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 明治大学, 2011年1月
- ・ 日高徹司, “複雑系現象の時系列に潜む変化構造の可視化, 理論とシミュレーション” 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 明治大学, 2011年1月,
- ・ 日高徹司, “広告効果測定に向けての取り組みのご紹介 実験計画法アプローチと時系列解析アプローチ”, 応用統計計量ワークショップ, 東北大学, 2010年10月
- ・ 日高徹司, “POS データに潜む販売ダイナミクスの可視化”, 明治大学 GCOE 若手ミニシンポジウム「マーケティングと現象数理学」, 明治大学, 2010年10月
- ・ 日高徹司, “商品の販売データに潜むダイナミクス変化の可視化(2)”, 「非線形時系列に対する現象数理学の発展」シンポジウム, 明治大学, 2010年7月
- ・ Jian Zu, “Coevolution in a predator-prey system subject to Allee effect”, 2010年京都大学数理解析研究所共同利用研究集会, 第7回 生物数学の理論とその応用, 京都大学, 2010年11月
- ・ Jian Zu, “Adaptive evolution of foraging-related traits in a predator-prey community”, The 3rd China-Japan Colloquium of Mathematical Biology, Beijing, P.R., China, 2010年10月
- ・ Jian Zu, “Evolutionary branching and continuously stable coexistence of predator species”, 明治大学第1回現象数理若手ミニシンポジウム, 明治大学, 2010年8月
- ・ ポー アイリン エミイ, “Grid Information Security Functional Requirement”, The 2nd Japan-Taiwan Joint Workshop for Graduate Students in Applied Mathematics, Meiji University, 2011年2月
- ・ ポー アイリン エミイ, “スマートグリッド (Smart Grid)”, システムセミナー, 明治大学, 2010年10月
- ・ ポー アイリン エミイ, “Quality Function Deployment (QFD) Introductory Overview”, システムセミナー, 明治大学清里セミナーハウス, 2010年8月
- ・ ポー アイリン エミイ, “The impact of marketing mix on customer satisfaction: A case study deriving consensus rankings from benchmarking”, GCOE 現象数理学の形成と発展, 明治大学, 2010年7月
- ・ 陳彦宇, “Entire Solutions with Merging Fronts to Reaction-Diffusion Equations”, The 2nd Japan-Taiwan Joint Workshop for Graduate Students in Applied Mathematics, 2011年2月

- ・ 山口将大, 野津裕史, 上山大信, “反応拡散系の自己組織化機構を利用した新たなメッシュ生成”, 広島大学・明治大学・龍谷大学 合同合宿, 広島県, 2010 年 8 月
- ・ 山口将大, 野津裕史, 上山大信, “反応拡散系の自己組織化機構を利用した新たなメッシュ生成”, Nonlinear Phenomenology and Mathematics サマーセミナー, 兵庫県, 2010 年 8 月
- ・ 山口 将大, 手老 篤史, 中垣 俊之, “Mathematical model of bone remodeling based on antagonistic adaptability” MEE Seminar, 明治大学, 2010 年 5 月

イ. ポスター発表

- ・ 末松 J. 信彦, “個体の概日周期に依存した生物対流パターンの変化”, 第 20 回 非線形反応と協同現象, 鹿児島大学, 2011 年 1 月
- ・ 末松 J. 信彦, “Mesoscale Control and Engineering of Self-Organized and Excitable Systems in Biology and Chemistry”, 9th iCeMS International Symposium Density Wave Propagation of a Wave Train, Kyoto University, 2010 年 12 月
- ・ 末松 J. 信彦, “光刺激の強度に依存したミドリムシの生物対流”, 基研研究会 2010 非平衡系の物理学-非平衡ゆらぎと集団挙動, 京都大学, 2010 年 11 月
- ・ 末松 J. 信彦, “Localized Bioconvection Generated by Schooling Behavior of Phototactic Micro-organisms”, Gordon Research Conference 2010: Oscillations & Dynamic Instabilities in Chemical Systems, Lucca, Italy, 2010 年 7 月
- ・ 占部千由, 三村昌泰, “ランダムウォークする粒子の感染症伝播の数理モデル”, 日本物理学会 2010 年秋季大会, 大阪府立大学, 2010 年 9 月
- ・ C.Urabe and S.Takesue, “Enhancement of Fracture Toughness in a Disordered Lattice System”, The 1st International Symposium on Innovative Mathematical Modelling, Tokyo, 2011 年 2-3 月
- ・ S.Kinoshita, “Comparison of Boolean dynamics in complex networks”, Far-From-Equilibrium Dynamics, RIMS Kyoto, 2011 年 1 月
- ・ 木下修一, 井口和基, 山田弘明, “遺伝子ネットワーク上におけるブーリアンダイナミクスモデルの振る舞い”, 2010 年度日本応用数理学会, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 中橋 渉, “人はなぜ賢い?”, 日本応用数理学会 2010 年度年会, 明治大学, 2010 年 9 月
- ・ 若狭徹, “On a simplified tumor growth model with contact-inhibition”, Far From Equilibrium Dynamics (In honor of the 60-th birthday for Proferssor Yasumasa Nishiura), 京都大学数理解析研究所, 2011 年 1 月
- ・ H. Notsu, “An application of the characteristics finite element method to a thermal convection problem with the infinite Prandtl number”, International Workshop on Far-From-Equilibrium Dynamics, Research Institute for Mathematical Sciences, 2011 年 1 月
- ・ M. Yamaguchi, H. Notsu, D. Ueyama, “A mesh generator using a self-organizing mechanism of a reaction-diffusion system”, International Workshop on

Far-From-Equilibrium Dynamics, Research Institute for Mathematical Sciences,
Kyoto University, 2011 年 1 月

- ・野津裕史, 山口将大, 上山大信, “自己組織化機構を利用したメッシュ生成手法の開発”, 日本応用数理学会 2010 年会, 明治大学, 2010 年 9 月